

認 定 書

国 住 指 第 2 4 7 9 号
平成 26 年 11 月 20 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0816
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材 (準不燃材料)

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.5 \pm 0.35以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙 …厚さ3.5\pm0.35mm以下 質量555.0\pm55.5g/m²以下(有機質量251.0\pm25.1g/m²以下) 構成： [1]化粧：合成樹脂 …質量40.0\pm4.0 g/m²(固形量)以下(有機質量20.0\pm2.0g/m²以下) 構成(g/m²) { 合成樹脂^{※1}…………… 20.0\pm2.0以下 (但し、ポリエステル系は18.0以下とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} ……0～20.0\pm2.0</p> <p>[2]主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)塩化ビニル系樹脂 …厚さ2.8\pm0.28mm以下 質量365.0\pm36.5g/m²以下^{※3} (有機質量166.0\pm16.6g/m²以下^{※4}) 構成(g/m²)^{※3} { 塩化ビニル樹脂 …… 102.5\pm10.2以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～8.9\pm0.9含む) 可塑剤^{※6}・減粘剤(カルボン酸エステル系) …… 59.4\pm5.9以下 (但し、減粘剤は0～8.9\pm0.9の範囲とする) 無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} … 10.2\pm1.0以上 有機質系発泡剤(アジカルボンアミド系、オキシベンゾニトリルジド) ……0～5.4\pm0.5 有機質系安定剤(亜鉛系化合物) …… 4.1\pm0.4以下 有機質系顔料^{※7} ……0～3.6\pm0.4 添加剤(防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～2.7\pm0.3</p>

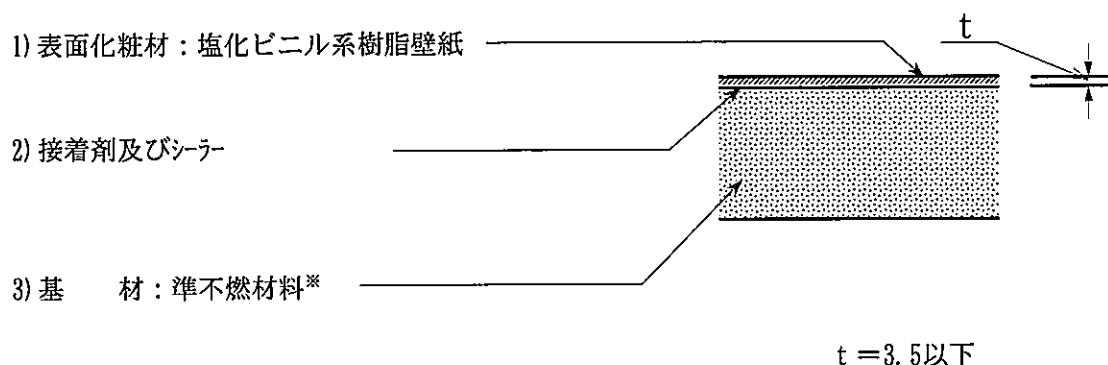
項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下</p> <p>質量$355.0_{\pm 35.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$156.0_{\pm 15.6}$g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… $96.3_{\pm 9.6}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～$8.4_{\pm 0.8}$含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $55.9_{\pm 5.6}$以下 (但し、減粘剤は0～$8.4_{\pm 0.8}$の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} …… $9.6_{\pm 1.0}$以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジジカルボンアミド系、オキシスチレンポリスチレンラジド) ……0～$5.1_{\pm 0.5}$</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $3.9_{\pm 0.4}$以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～$3.4_{\pm 0.3}$</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～$2.5_{\pm 0.3}$</p>
	<p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ$2.8_{\pm 0.28}$mm以下</p> <p>質量$345.0_{\pm 34.5}$g/m²以下^{※3} (有機質量$146.0_{\pm 14.6}$g/m²以下^{※4})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※3}</p> <p>塩化ビニル樹脂 …… $90.1_{\pm 9.0}$以下 (但し、合成樹脂インキ^{※5}0～$7.8_{\pm 0.8}$含む)</p> <p>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …… $52.3_{\pm 5.2}$以下 (但し、減粘剤は0～$7.8_{\pm 0.8}$の範囲とする)</p> <p>無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤^{※2} …… $9.0_{\pm 0.9}$以上</p> <p>有機質系発泡剤 (アジジカルボンアミド系、オキシスチレンポリスチレンラジド) ……0～$4.7_{\pm 0.5}$</p> <p>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …… $3.6_{\pm 0.4}$以下</p> <p>有機質系顔料^{※7} ……0～$3.2_{\pm 0.3}$</p> <p>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) ……0～$2.4_{\pm 0.2}$</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{*8}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{*9} …$65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{*10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*10}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{*1} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{*9} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{*1}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{*10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{*2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2]主素材が(2)又は(3)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{*9} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{*10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*10}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{*1} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{*9} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{*1}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{*10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{*10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{*2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづぎ)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が(3)の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下 質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$85.0_{\pm 8.5}$g/m²以下) 構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※9} …$85.0_{\pm 8.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※10}$20.4_{\pm 2.04}$以下とし、かつ有機質量を$68_{\pm 6.8}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$11.6_{\pm 1.16}$以下 有機繊維^{※9} …$61.0_{\pm 6.1}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$62.0_{\pm 6.2}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※10}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※10}は$1.0_{\pm 0.1}$～$22.2_{\pm 2.22}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※2} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2:無機質系充てん材、無機質系顔料、無機質系添加剤は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜硫酸亜鉛、シリカ、金属粉(アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3:質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※4:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤が揮発により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※5:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7:有機質系顔料は、アゾ系顔料、フラノアン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8:裏打材は、紙、無機質紙、不織布(non woven paper)のいずれかとする。</p> <p>※9:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※10}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { でん粉のり ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1]メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 組成 (質量%) { メチルセルロース ……$80_{\pm 2}$以上 補強剤^{※11} ……$20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> <p>[2]シーラー:合成樹脂^{※12} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> </div> </div> <p>※11:補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12:合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位:mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの